

【運転・定検状況】

平成 17 年 7 月 15 日

1 号機圧力抑制プール内の点検状況について

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 1 号機は定期検査を実施しておりますが、圧力抑制プール塗装作業準備のため、プールの水抜き作業を行っていたところ、7 月 6 日にプール底部（ペDESTAL¹ 内側底部）から靴（左足）を発見・回収しました。その後の点検の結果、圧力抑制プール底部からカーボン管（直径 3 cm × 長さ 10cm 程度）やテープ片などのゴミ類を確認し、回収しました。

また、昨日までの作業において、圧力抑制プール内に設置されている主蒸気逃がし安全弁排気管の排気孔² に布製のウエス 1 枚、およびプラスチック製のキャップ状のもの 1 個を確認しておりますが、これらについては、今後、準備が整い次第、回収する予定です。

1：ペDESTAL

原子炉圧力容器の基礎台のことで、圧力抑制プール（内径約 26m）の中央部分に設けられている円筒形（内径約 6 m）の構造物です。

2：主蒸気逃がし安全弁排気管の排気孔

原子炉圧力が上昇した場合、圧力容器保護のため、主蒸気配管から主蒸気逃がし安全弁を通じて、蒸気を圧力抑制プールへ逃がす役割を持ちます。蒸気は排気孔を通じ圧力抑制プール内で水に戻されます。

以 上

原子炉格納容器概略図

